



創立1880年

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18

日本キリスト教会館6階

Tel 03-6302-1960

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

発行所 公益財団法人

東京YMCA

発行人 菅谷 淳

# 東京YMCA

2020年

## 東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体的全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。



## 2020年度事業計画

# 創立140周年の幕開けに

### 2020年度運営方針

#### I. 運営基本方針

創立140周年にあたり、東京YMCAとして変えてはいけないものと変えるべきものを見極め、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を学び、現行の事業や活動が変容する現代社会のニーズに的確にできているかどうかという視点で検証し大胆に未来に向けて挑戦していく。

東京YMCAグループに連なるすべての会員・職員・ボランティアが一体となってブランディングを推進し全国YMCAと歩調を合わせてミッションに適った組織変革を進め、新しい事業およびプログラムを積極的に展開する。

#### II. 全体運営方針

1. 全国のYMCAとともにブランディングを推進し新規事業を開発する。
2. 会員の組織上の位置づけ、会員へ期待すること、役割などを明確にし、魅力のある新しい会員制度を確立する。
3. 多様な人材獲得とリーダーシップを育成し新しい働き方を導入する。
4. 積極的な広報戦略を確立する。
5. 中高生を対象とした新規事業を開始し、ユースが魅力を感じるYMCAを作る。
6. 一人ひとりの災害に対する意識を高め、防災・減災について学び、危機管理のための正しい知識と理解を深める。また発災時には機敏に行動できる体制を整える。
7. 他YMCA、ワイズメンズクラブ、他団体との交流をはかり、新しい協力関係を作る
8. 東京YMCA140周年をアピールし、キャンプ100年事業を各部署で展開する。
9. SDGsへの取り組みの一環として、各部署環境に配慮した再生可能エネルギーへの転換や節電に努め、電気代を前年比5%削減する。

## 社会の期待に応え得る組織に

公益財団法人東京YMCA総理事 菅谷 淳

日頃より東京YMCAにご支援・ご協力いただきありがとうございます。2020年度は、東京YMCA創立140周年、ならびにYMCAキャンプ100年という重要な年でもあります。新型コロナウイルスが猛威をふるい、社会が混乱する中での幕開けとなりましたが、誰もが先行きへの不安をかかえる今だからこそ、世界120の国と地域にあるYMCAのネットワークを活かして連

携し、間違った情報に惑わされずに、強い信念を持ってしっかりと前に進みたいと思います。一刻も早い収束と皆さまの健康をお祈りしますと共に、変わらぬお力添えをお願いいたします。

さて今年度の方針は、できるだけ数値化と具体化を心がけて作成しました。これは客観的な評価を行うという意図からです。キーワードは、新時代を見据えての会員制度の見直し、YMCA

を担って立つ若い人材の育成、魅力ある職場となるための働き方改革、全員参加でYMCAのストーリーを伝えていく広報戦略、すべてのプログラムやファンドの募集強化、賛育会を始めとする他団体ならびに他のYMCAとの交流の活性化、持続可能な開発目標(SDGs)の学びと実践

財政的には前年度からの新型コロナウイルスによる減収が懸念されていますが、学校事業の児童・生徒・学生数は復調傾向にあるため、収支相償の予算計画は十分に可能と考えています。竣工から17年が経過した東陽町の社会体育・保育専門学校校舎につきましては、大規模修繕を行います。また山中湖センターや野尻キャンプ場も必要な改修・修繕を順次設備投資計画に従って行っていきます。

YMCAのブランドスローガンである、「したい何かが「みつかる」、大切な誰かと「つながる」、そしてすべての人が「よくなっていく」と、これからも会員の協力のもと力を合わせて頑張りたいと思います。引き続き東京YMCAをよろしくお願いたします。 Ⅱ▼2・3面 「各事業計画概要」

## 赤△三角

毎年夏になると、私が中学1年の時に参加した2週間のキャンプ、野尻学荘が思い出される。キャンプ生活を歌った「トミソング」と共に、遠泳で3500mを泳ぎ切った後の葛湯の味がよみがえる。カレイリスを何杯もおかわりしたこと、ゲームをしたり、山に登ったり、ヨットに乗ったり、友だちと人間関係について正直に語り合ったことも思い出される。とにかく生活が楽しかった▼これはなんだろう。学校では味わえなかった楽しいこと。ジョン・デュ

員 笈川光郎



2020年度 東京YMCA 組織図

<b>公益財団法人東京YMCA</b>	
◇ 会員部・コミュニティーセンター	
会員部	
江東コミュニティーセンター	
山手コミュニティーセンター	
西東京コミュニティーセンター	
南陽町コミュニティーセンター	
東雲コミュニティーセンター	
◇ 国際事業	
国際部	
インターナショナルスクール	
東陽町語学教育センター/キッズガーデン	
にほんご学院	
◇ 学校事業	
国際ホテル専門学校	
社会体育・保育専門学校/ウエルネス東陽町	
高等学院(通信制高校)	
オープンスペースliby	
◇ 野外教育事業	
山中湖センター	
野尻キャンプ	
◇ チャイルドケア事業	
キャナルコート保育園	
オリーブ保育園	
保育園 ねがい	
芝浦アイランドこども園	
◇ アフタースクール・公民連携事業	
江東区東雲児童館・学童クラブ	
江東区東雲第二学童クラブ	
江東区東雲第三学童クラブ	
港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ	
港区立芝浦学童クラブ	
芝浦チャイルドケアセンター(江東区児童・高齢者総合施設)	
◇ 本部事務局	

<b>学校法人東京YMCA学院</b>	
しのめYMCAこども園	
江東YMCA幼稚園	
医療福祉専門学校	

<b>YMサービス株式会社</b>	
高尾の森わくわくビレッジ	
キャリアサポートセンター	

# 2020年度

## 人格の“根っこ” 育てる保育を

チャイルドケア事業 (統括 秋田正人)



東京YMCAは、都内で四つの保育園(保育園型認定こども園を含む)を運営しています。「保育園ってただ子どもを預かってるだけじゃ？」そんな誤解があります。が、次の様な大きな使命を感じて、一人ひとりの保育士は日々の保育を行っています。

「乳幼児期は人間形成

の『根っこ』が育つ大切な時期です。YMCAでは、見たり、聞いたり、触ったり、匂いを感じたり、味わったりと、子どもたちが五感を存分に用いて、心とからだを動かすことを大切にしながら、仲間とともに育ち合い、たくて長い根っこを伸ばしていきたくて、そのことを願って保育しています。

を位置づけ、日々の保育を見直すとともに、それを担う人材育成を積極的に行っていくこととしました。そしてもう一つは、未来の子どもたちのために「持続可能な開発目標(SDGs)」のいくつかの課題に向き合い、取り組むことも予定しています。

是非お近くにお越しの際は、お立ち寄りいただき、YMCA保育園の、今を体感していただけたらと思います。

## 他事業部と連携を取りながら

アフタースクール・公民連携事業 (統括 波多啓造)



東京YMCAは都内5か所で、行政との協働事業(指定管理や委託)としてアフタースクールを行なっています。現在、学童クラブには計約500人が在籍し、児童館は乳幼児親子から中高生まで年間延べ13万5千人が利用しています。

子どもたちのさらなる成長を支える活動ができるよう、今年もチャイルド

ドケア事業と連携し、職員研修、人事交流を充実させていきます。いくつかの学童クラブでは全国YMCAで開発が進められている保育日誌のデータ化「伴走サポートプログラム」の導入を試みます。

また養成校である「東京YMCA社会体育・保育専門学校」とは日常的に連携を密にし、実習生・研修生を受け入れるほか、現場の指導者を学校の講師として派遣するな

ど、学生と職員の相互育成を行ってまいります。高齢者から乳幼児親子まで幅広い年代にお使いいただいている公民連携事業の施設(グランチャイルドアイランド児童高齢者交流プラザ)では、YMCAのノウハウを活かした様々なイベントや地域活動を、年間を通して数多く行っています。今年も高齢者プログラムと地域活動をさらに充実させると共に、内外に広く周知していきたく

と考えています。高齢者の施設でもアフタースクールの同様、横断的な研修タスクを組織し、職員の実の向上、人材交流等に努めていく予定です。

またこれらの施設は、YMCAが運営する大型公共施設として災害など有事の際に様々な役割が求められることが想定されますので、東京都のPFI事業である「高尾の森わくわくビレッジ」等とも連携しながら対応を検討してまいります。

## 学校間の連携を強めて

学校事業 (統括 小畑貴裕)



→ヨーロッパホテル観光研修(国際ホテル専門学校)

2020年度の学校事業のキーワードは「連携」になります。18歳人口の減少が2018年から加速し、大学全入時代の到来する中、東京YM

CAグループに連なる3つの専門学校(国際ホテル専門学校、社会体育・保育専門学校、医療福祉専門学校)は、法人の枠を超えて連携し、学生募集、広報活動を強化していきます。

「東京YMCAにほんご学院」とも連携を強化し、特にホテル専門学校と医療福祉専門学校は留学生の受入れに力を入れていきます。ホテル学校では15名、医療福祉専門学校では20名の留学生の受入れを目指します。合わせて日本語教師の常駐など、留学生のサポートも充実させていきます。

校は2020年4月からYMサービス株式会社内に開設される人材紹介事業「スポーツ転職ミライズ」「保育転職ミライズ」と連携し、卒業生への転職・再就職のサポートを充実させます。

通信制サポート校として山手センター内で運営している「高等学院」は、生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な指導体制の成果があらわれ、毎年順調に在籍者が増えていきます。引き続き、YMCAに関わる多彩な講師陣と各種プログラムへの連携を強め、YMCAらしいサポート校として確立してまいります。

多様な働きを行う東京YMCAの各事業にまたがる会員、プログラム参加者の会費や参加費の情報を含む個人情報管理に関する会員管理ソフトを刷新し、新しいソフトを導入します。新しいソフトはレジ機能も持たせることができるので、現在の手作業の入金管理を自動化することも今後の目標です。稟議システムはすでに導入しましたが、今後は承認を必要とする各種申請等に用いることが目標となります。労務管理にも新しい仕組みを導入してまいります。

## 新たなシステムで効率化

本部事務局 (統括 山添 仰)

入し、複雑な労務管理の簡略化を目指します。

私たちの働きを強めること、そして知ってもらうことは、いつの時代にも意識し、行動していく必要がありますが、そのために組織のみなさん、広

い、個人と個人と、法人、団体で東京YMCAの働きを支えてくださる賛助会員を募っています。プロジェクト型の支援や協働プログラムの拡充も視野に、広く賛助会員を募ってまいります。

個人と個人と、法人、団体で東京YMCAの働きを支えてくださる賛助会員を募っています。プロジェクト型の支援や協働プログラムの拡充も視野に、広く賛助会員を募ってまいります。